

例会報告 Rotary



- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 垣内 秀文
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 大村 貴之
- 会報委員長 中島 一成

イマジン ローターリー 財団補助金事業説明

<会長の時間>

かつて遠い、遠〜い昔になりますが、我々も青少年と言われ、明るい将来を夢見て、キラキラしていた時期がありました。「青少年」とは青年の20~30歳位までと、少年の7~15歳位までが合わさった感じですが、一般的には12~25歳位までの男女を指しており、青少年保護育成条例では18歳未満の未婚の男女が当てはまります、そんな訳で5月はロータリーの青少年月間です。



思い起こして下さい...草木に触れ自然の中で友と遊んだ日々を...親と一緒に楽しんだ旅行の思い出を...それらの体験の記憶は大人になった今でも、その場面を克明に覚えている事が沢山あることでしょう。しかし最近の子ども達の間で体験機会の質や量に大きな格差が生じていると耳にします。

経済的困窮や社会の孤立などの様々な事情で、旅行をする、友達と遊ぶ、自然に触れる等「当たり前」の体験をする事が難しい子ども達は、その問題を抱えていない子どもに比べ、得られる体験機会が圧倒的に少ないと言われていています。

また、厚労省の「21世紀出生児縦断調査」でも、親が子どもをキャンプや釣り、動物園などの体験活動に参加させた回数を集計し両親の学歴ごとにその割合を比較しており、その結果から高卒、短大・専門卒、大学・大学院卒のうち、親の学歴が「大学・大学院卒」の場合、子どもに体験の機会を与えている回数が多いことがわかっています。

そして大切な親子の時間は、長さだけでなく過ごし方の質も重要といえ、生活時間調査を用いた研究では、親子の時間の過ごし方にも着目しており、一緒に過ごす時間が「子どもを中心とした活動」だったり「親子の間で適度な会話や交流」の場合は質の高い時間に分類されます。例えば親子で会話をしながら食事をするのは、質の高い時間投資ですが、会話を交わさず、一緒にテレビを見るだけでは質の高い時間には分類されません。こうして分類すると平日の「質の高い時間」は子どもと過ごす時間全体のうち1/3程度で、これは米国以外の国でも同様の傾向があります。この時間投資のうち、質の高い時間こそが子どもの人的資本形成に重要であることもわかっています。

アメリカの研究によると、母親と父親が行う時間投資には同じだけの価値があるとされています。また母親による時間投資の価値が高い時期は幼少期に集中していますが、父親の時間投資の価値は子どもの年齢にあまり依存しないことを示した研究もあるようで、親が子どもに十分な体験機会を与えられれば体験格差は解消されますが、一般的に家庭内だけで解決することは難しいのが現実のようです。

又、今日本では共働き世帯は増加の一途を辿っており全体の約64%を占めています。多くの家庭が子育てにかかる時間のやり繰りに悩んでおり、経済的に余裕がなく、生計維持に精一杯で子どもと十分な時間を過ごす事自体難しいのが現実です。

体験格差は学力や学歴の格差と比較すると、あまり注目されていませんでしたが、まずは私たち大人が子どもの体験格差に目を向け、それが格差解消の第一歩と言えます。

今の時代の学力が何を指しているか、それは間違いなく表現力で、表現力の土台になるものは思考力、人は考える力以上に表現することはできません。その土台は感じる力、思考力を育てているのは感受性です。この感受性を育てているのが「体験」だと思います。取り敢えずやらせてみるというのは、価値のある事ですが、今の時代「やってごらん」と言っただけではただでは駄目なので声掛けを変えていく必要があります、山本五十六の格言「やってみせて、言って聞かせて、やらせてみて、褒めてやらねば、人は動かじ」の通り、子どもたちをその気にさせて様々な体験をさせることが重要だと思います。お子さん、お孫さんとコミュニケーションをとる時に、色々な体験を工夫しながら提供する、そんな触れ合い方をすれば子ども達の将来にとって、必ず有益なものになるのではと考えます。

次年度、早々に行われる財団補助金事業「相撲に触れ合う一日」は下屋次期会長の元、実行委員会を中心に着々と準備が進んでいます。本日の例会では、その情報を皆さんと共有し、知力を結集し、より良い事業していく必要があります。今回の事業が多くの子どもたちにとって有意義で貴重な体験となり、青少年の体験格差解消に寄与できることを祈念して、本日の会長の時間を締めさせていただきます。

<幹事報告>

◎ガバナーより

・地区大会記録USB送付のご案内

◎濃飛グループ次期ガバナー補佐より

・濃飛グループ次期AG会長幹事懇談会ご出席の御礼

◎はぐるま会会長より

・第204回 はぐるま会開催のご案内

日時・場所 6月11日(日) 12:29~ 飛騨高山C.C.

表彰式 洲さき 18:45~ 会費 17,000円

◎高山・デンバー友好協会より

・令和5年度通常総会の議決結果について

◎高山市都市提携委員会より

・令和5年度定例会の結果について

<例会変更>

高山中央 … 6月19日(月)は、最終慰労例会のため

18:30~ ひだホテルプラザへ変更

6月26日(月)は、定款により休会

可児 … 6月8日(木)は、親睦旅行のため

南知多方面へ変更

6月29日(月)は、定款により休会

<受贈誌>

米山記念奨学会(ハイライトよねやま vol276)

<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
21名	-	21名	36名	58.33%

例会報告

＜今月のお祝い＞

◎出席表彰

伊藤 松寿

37年



＜本日のプログラム＞ 財団補助金事業説明



実行委員長 杉山 和宏

2023-2024年度ロータリー財団補助事業は、日本文化の伝承「相撲に触れ合う一日」と題して計画しています。

目時は「日本文化の伝承と青少年の健全育成」であり①飛騨地域では普段触れ合うことのできない大相撲の力士に直接指導していただくことで、強い身体

づくりのきっかけを作るとともに、「飛騨の花」以来の関取を目指す子供の発掘。②元力士から実際の経験や苦労話を聞くことで、これまでの生き方を振り返り生きる希望を得る。③地元相撲大会への協賛をし、さらに相撲場の土俵作りを実際に行うことで、高山相撲の振興発展に寄与する。として、地区補助金支給が決定しました。

事業内容として大きなものが、7月30日(日)13:30~15:00 飛騨・世界生活文化センター「芸術堂」にて開催する、元第74代横綱稀勢の里、二所ノ関親方をお招きしての講演会で、市内小学校全児童にチラシを配布し、300名無料招待を予定しています。

また、直近では6月29日(木)に、飛騨高山ビックアリーナ向かい、高山市相撲場の整備を計画しています。こちらは事前に重機で運び入れた土を、大相撲呼出しさん2名にお越し頂いて土俵築して頂くものです。新たに整備された土俵にて、7月30日(日)午前中に高山市青少年相撲大会が開催されますので、こちらの協賛も事業の一つとなっています。

事業詳細やお手伝いいただく内容について、確定次第随時お知らせいたしますので、よろしくご協力下さいませお願いいたします。

会長エレクト 下屋 勝比古

ロータリー財団補助事業7月30日がメインの二所ノ関親方講演会ですが、今日は「相撲を楽しむ一日」の補足として大相撲のグッズについて少しお話をします。

大相撲は、スポーツのエンターテイメントですが、場内マイク以外は音楽などありません。全てアナログです。

まず、「拍子木」。合図は「木の音」ですべて行います。音のリズムによって入場、退場のタイミングをおこないます。最初や最後の一番には、呼び出しの口上も入り会場を盛り上げます。

力士の頭に塗ってある油は、「鬢付(びんつけ)け油」と呼ばれるもの。固さによって種類が分けられ、一般的に「びん付け」、「中ねり」、「すき油」の3種類が存在します。固さは、びん付けが一番固く、次いで中ねり、すき油となります。そして、その3種類のうち、力士の鬢に使われている鬢付け油は、すき(梳)油。主に九州産の樫(はぜ)の実を原料とし、他に、なたね油、ひまし油、さらに汗の匂いを消すための数種類の香料などを混ぜ合わせて作られます。



「まわし」とは、「縮込」や「稽古まわし」などをまとめた呼び方です。十両以上の力士が本場所相撲を取るときに着用する、まわしの正式な呼び方は「縮込(しめこみ)」と呼びます。縮込は博多織の縮子(つやのある絹織物)で作られており、カラフルな色が使われています。幕下以下は、稽古場でも本場所でも木綿の縮込のみで、紺または黒のものを使います。縮込の長さは約9m、幅は80cmほど。(もちろん力士の体型によってそれぞれ違ってきます)力士はこの縮込の横幅を6つ折りにして体に縮込めます。ちなみに回しの下には「さがり」を付けています。13本さがっていることが多いですが、基本は同点にならないように常に奇数であるようです。

後援会に入ると、記念品で「浴衣生地」をいただきます。お相撲さんの日常は普段は浴衣で生活しています。稽古の後に裸でお客さんに接しないよう、着古した浴衣を羽織るものごとを「泥着」といいます。これも出せば、関取は着物で移動もするしいつも新しい浴衣を着ています。すべては番付次第の厳しい世界なのです。

＜ニコニコボックス＞

●垣内 秀文さん、大村 貴之さん

先日の新緑例会にご参加の皆さん、郡上八幡を楽しんでいただけたでしょうか？堀さん、田邊さんには大変お世話になりました。本日は来年度実施する財団事業の担当例会です。次期会長下屋さん、実行委員長 杉山さん、よろしくお祈りします。

●米澤 久二さん

SAAなのに新緑例会参加出来なくて申し訳ありませんでした。吉田屋のうなぎをリベンジで食べる事が出来なくて大変残念でした。

●内田 幸洋さん

3週間ぶりに出所してきました。会からお見舞いをいただきました。ありがとうございます。

●門前 庄次郎さん

5月21日「飛騨天満宮創建1100年報祝祭」を無事終える事が出来ました。太宰府天満宮、北野天満宮宮司を始めとし、多くの来賓の下盛大に行う事が出来ました。1年かかっていた準備も報われた思いです。これからは例会にしっかり参加します。

●下屋 勝比古さん

我が家の広いベランダに人工芝を敷きましてベランディングが出来ます。孫のため楽しみです。

●松田 康弘さん

この度人事異動により三重県の桑名支店に転勤となりました。在任期間中は、皆様には大変お世話になりました誠にありがとうございました。皆様の今後の益々のご活躍を心より祈念いたします。本来であれば、皆様とお顔を合わせてご挨拶させていただきたかったのですが、引き継ぎの都合上、ニコニコにて失礼いたします。三重県にお越しの際は是非お声かけ下さい。ありがとうございました。

●狭土 貞吉さん、田近 毅さん、平 義孝さん、斎藤 章さん、

田中 武さん、鴻野 幸泰さん、下屋 勝比古さん、向井 公規さん、水梨 弘基さん

・5月21日の新緑例会には、沢山の会員の皆様に参加していただき、郡上八幡の散策とても面白かったです。そして吉田屋さんのウナギとても美味でした。

・天満宮様の1100年祭、誠にありがとうございました。